

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB128A	情報リテラシー II A	
科目名（コード）	THB128	情報リテラシー II A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木隆一	時間数	
成績評価教員	佐々木隆一	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	本学の教育理念に基づき、基本となるICTスキルを習得し現代社会の様々な分野で活躍することができることを目標に、基礎からスキルを積み上げ自らキャリアを形成・発展させる能力を養成。
全体の内容と概要	表計算ソフトExcelを中心に、ビジネス上よく使用される計算式や関数&グラフ機能などについて、演習を中心に学習し知識を定着させる。尚、進捗状況により一部内容を変更する場合がある。
授業時間外の学修	余力がある人は、オプションの問題にも積極的に取り組むこと。
履修上の注意事項等	通信環境の事情により、毎回事前に指定するファイルをUSBメモリにダウンロードして授業に持参すること。また、必須課題を未提出の場合は当日分が欠席扱いになるため必ず提出すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション Excel概要・基本用語の理解	Excelの基本用語と画面構成/構成要素 基本操作（p 100-115）
2	基本操作をマスターする	範囲指定/書式設定/印刷の方法 練習9&10演習/オプション課題
3	必須課題	Excelの基本操作に関する課題
4	よく使われる計算式と関数1	ビジネスでよく使われる用語と計算式 練習12・13・14/オプション課題
5	よく使われる計算式と関数2	関数のネスト/端数処理/論理関数
6	必須課題	上記授業内容についての課題
7	よく使われる計算式と関数3	関数のネスト/端数処理/論理関数 練習15&16演習/オプション課題
8	よく使われる計算式と関数4	演習
9	グラフ作成の基本	用語の理解/グラフリボンの機能と操作（p 153-169） 練習17&18演習
10	適切なグラフを作成できる	いろいろなグラフ（p 169-176）/レーダーチャート・複合グラフ作成 グラフの印刷/練習19&20&21演習
11	適切なグラフを作成できる	いろいろなグラフ（p 169-176）/レーダーチャート・複合グラフ作成 グラフの印刷/練習19&20&21演習
12	まとめと補足	補足説明/質疑応答他
13	必須課題	上記授業内容についての課題
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ISBN : 978-4908434358 書籍名／出版社 : Office基礎と情報モラル（Office2019対応）/noa出版
参考文献・資料等	
備考	